

## 10階西病棟

### 診療科

耳鼻咽喉科・頭頸部外科、皮膚科

### 病床数

48床

### 看護師数

看護師長1名、副看護師長3名、看護師27名

### 主な疾患

耳鼻咽喉科・頭頸部外科：頭頸部腫瘍、副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、難聴、  
中耳炎、睡眠時無呼吸症候群、扁桃周囲膿瘍  
皮膚科：皮膚悪性腫瘍、皮膚悪性リンパ腫、熱傷、アトピー性皮膚炎

### 治療・検査

耳鼻咽喉科・頭頸部外科では、外科的治療・化学療法・放射線療法の治療を行っています。嚥下や眩暈の検査を行っています。

皮膚科では、外科的治療・化学療法・放射線療法や、アレルギー性疾患の検査と自己管理に向けた処置の教育を行っています。

### 看護の特徴

病気や治療の特徴として、容貌の変化やコミュニケーションの障がい、食事摂取が困難になることがあります。容貌の変化を患者さんや家族が受け入れやすくするために、不安の軽減や意思決定への支援を行っています。また、患者さんに合わせたコミュニケーション方法を一緒に考えています。

入院前から退院後の生活まで様々な方向から多職種が協働し、より良い医療・看護の提供に努めています。

手術前後の看護や治療に伴う症状を予防、ケアしながら安全に治療が進められるよう援助しています。化学療法・放射線療法は、副作用を最小限に留められるよう予防に力を入れています。

毎日医師によるガーゼ交換や軟膏塗布などの処置があります。処置は患者さんにとって苦痛の大きいものでもあるため、苦痛が少しでも少なくなるよう援助しています。また、退院後に処置が必要な患者さんには、指導を行っています。

